



5月29日（水）令和6年度大村市中学校総合体育大会選手激励会 各部選手たちの本気の挑戦と戦いに期待します

今日は、市中総体に出場する選手の皆さんに2つの言葉を紹介して、激励したいと思います。まず一つ目です。「**雨垂れ石を穿つ**」という言葉です。

「雨垂れ」というのは、屋根や軒先からしたたり落ちる雨のしずくのことです。

「石を穿つ」の「穿つ」とは、穴をあけるとか突き抜けるという意味です。

つまりは、軒先からぽたぽた落ちる雨のしずくのような小さな弱々しいしずくでも、長い間ずっと同じ所に落ち続けると、硬い石に穴をあけてしまうことがある、ということです。このことから、どんなに小さな力でも、根気よく続けていればいつか大きな成果が得られるということを表しています。

選手の皆さんは、これまで、6月8・9日に開催される本大会に出場するために多くの人に支えられ、辛い練習に耐え努力してきました。

特に3年生は、過去に先輩たちが新型コロナウイルス感染症のために、思いっきり活動ができなかった姿を少しは覚えているのではないかと思います。

また、現在は体育館が使用できずに、不便な形で部活動を余儀なくされています。

そのような困難も含めて乗り越えながら、継続して部活動に励んでいることが何よりも立派なことです。

そして、確実に成長しているはずですよ。

絶対に、勝負を制するための力は身につけているはずですよ。

どうぞ自信をもって、自分の納得できる最高の技を出せるよう一試合一試合集中して試合に臨んでください。

次に二つめです。「**平常心是力也**」という言葉です。

この言葉は、相手に惑わされることなく、冷静に判断し、今持てる力を最大限に発揮することを意味します。試合中、心の動揺があっては全力を出し切ることができません。

「平常心」をもって試合に臨むことで、己の力を集中させることができます。

そして、ピンチをチャンスに変えて、持てる力を最大限に発揮することができます。

これにプラスして、先日の体育大会で学んだ、本気の取り組みを思い出して戦えば、もう迷いはないはずですよ。さあ、戦いの時が刻々と近づいてきています。

選手の皆さん一人一人が体育大会スローガン「**飛躍～progress and growth～**」を心に刻み、チーム一丸となって、最後の「一打・一球・一投・一点・一本」まで、諦めずに戦い抜いてください。皆さんの健闘を心の底から祈っています。

「プライオン 思いを力に！」頑張ってください。

令和6年5月29日

大村市立西大村中学校長 六山 和弘

生徒代表激励のことば（生徒代表：3年生の儀保友梨香さんが立派に行いました）

市中総体に出場する選手の皆さん。いよいよ本番まであと10日となりました。

本番に向けて期待や不安、緊張など、さまざまな思いがあると思います。

今まで厳しい練習にくじけそうになりながらも、大切な仲間と励まし合い、助け合い、競い合いながら日々努力を重ねてきたことでしょう。

大会では、これまで頑張ってきた自分たちの力を信じ、成果を存分に発揮し、悔いの残らないよう戦ってきてください。

当日、私たちは応援に行くことはできませんが、どんな結果であっても一人一人が楽しみ、輝けることを祈っています。在校生一同、心から応援しています。がんばってください。



FIGHT

各部決意表明

感謝の気持ちをもって、全力で戦います。応援よろしくお祈いします。
部を代表して、女子バドミントン部主将：山田和歌さんとサッカー部主将：奥野彪斗さんが
元氣よく選手宣誓を行いました。

【男子バスケットボール部】



【女子バスケットボール部】



【男子バレーボール部】



【女子バレーボール部】



【男子バドミントン部】



【女子バドミントン部】



【男子卓球部】



【女子卓球部】



【陸上部】



【水泳部】



【軟式野球部】



【サッカー部】



【男子ソフトテニス部】



【女子ソフトテニス部】



【剣道部】



【柔道部】



【空手道部】



～ちょっといい話～

激励会の途中、次の2つの出来事について生徒にお礼と感謝を述べました。

①プール掃除に、明るく楽しみながら取り組む姿に感激。ありがとう！

②登校中横断歩道の見守りの方に「いつもありがとうございます」の言葉をかけた生徒の姿があった。確かな学びを実践する姿に感動。そして、その行動に感謝します。こういうことが広がってほしいなあ。

